

зизо зифдди зноухбfnюи нѳзи зиф

дпбfnюб.диззгнзнцѳ

目次

はじめに	1
いろいろなリパライン語	1
文字と読み方	ㄱ
ㄱ 母音字	ㄱ
ㄴ 子音字	ㄴ
₩ 記号類	ㄱ
1 注意が必要な文字	ㅇ
ㄱ 二重子音	ㅇ
ㅇ 三重子音	ㅇ
ㅌ 強弱子音と軟子音	ㅌ
ㄹ その他の発音規則	ㅌ
ㅓ アクセント	ㄹ
ㅓ0 イントネーション	ㄹ
ㅓㅓ その他	ㄹ
ㅓ 第1課 -ㅓㅓ ㅓㅓㅓㅓ-	ㅇ
ㅓ-ㅓ 人称代名詞	ㅇ
ㅓ-ㄴ コピュラ動詞 ㅓㅓ	ㅓ0
ㅓ-₩ 呼格	ㅓ0
ㅓ-1 平叙疑問文	ㅓ0
ㅓ-ㄱ 挨拶表現	ㅓ0
ㄴ 第2課 -ㅓㅓ ㅓㅓㅓㅓ-	ㅓㅓ
ㄴ-ㅓ ㅓㅓ3, ㅓ3	ㅓㅓ
ㄴ-ㄴ 存在動詞 ㅓ33	ㅓㅓ

§-§ 相位詞	ΓΓ
§-2 属格	Γ§
§-③ 勧誘の助動詞 3u3o	Γ§
§ 練習問題	Γ§

はじめに

リパライン語を学ぼうとするみなさんに向けて、従来の教科書の項目から基本的なリパライン語を操るのに必要な最小限の文法事項を抽出したテキストを作りました。シャリヤやエレナたちの会話の中で用いられる表現に触れながら、リパライン語の魅力に親しんでいきましょう。

いろいろなリパライン語

リパライン語は、リパラオネ人たちの間で用いられる言語です。更にファルトクノアやデュイン地域をはじめとするさまざまな領域・世界に広まっている言語でもあり、発音差や方言などが豊富に存在します。本書ではその中でも標準語とされているフェーユ方言に基づいて学んでいきます。

また、現代リパライン語では、文語と口語という二つの文体が存在します。口語はいわゆる話し言葉と言われるもので、格接辞の省略や単語の遣い方などが比較的自由であり、少しくだけていると捉えられることもあります。それに対し文語は書き言葉と言われる、公文書や新聞などに用いられ、口語に比べると省略や語順に制限があるなどの違いがあります。

本書では口語を基本としつつ、よく見られる文語表現や注意点を紹介することを目標とします。

文字と読み方

x	/p/	ペー	ю	/n/	ネー	n	/i/	イー	Γ	1
ǣ	/ɸ/	ふえー	ɮ	/:/	れー	ɥ	/y/	シェノネン・ウー	ḡ	2
ṡ	/f/	フエー	з	/l/	レー	ɔ	/u/	ウー	⌘	3
и	/t/	テー	ɥ	/j/	イエー	ə	/o/	オー	ɹ	4
з	/s/	セー	o	/w/	ウエー	u	/e/	エー	ϑ	5
ṡ	/ʃ/	シェー	ð	/b/	メー	Б	/a/	アー	ð	6
п	/k/	ケー	ṡ	/β/	うえー	,		読点	ṡ	7
ɥ	/kw/	クエー	ṡ	/v/	ヴェー	.		句点	ɹ	8
c	/h/	ヘー	w	/d/	デー	i		感嘆符	ð	9
ɮ	/r/	れー	D	/z/	ゼー	ð		疑問符	0	0
и	/ts/	ツエー	п	/g/	ゲー	ɹ		アポストロフィ		
ð	/m/	メー	ṡ	/ʒ/	ジェー	'		アポストロフィ		

Γ 母音字

リパライン語には n, ɥ, ɔ, ə, u, Б の 6 つの母音字が存在します。

n ɔ ə u Б: 対応するローマ字と同じように発音します。

ɥ: 舌を下あご側の前歯の裏につけながら、口をすぼめて [ウ] と発音します。

ḡ 子音字

ペアになっている子音

無声子音: x ǣ ṡ и з п

有声子音: ð ṡ ṡ w D п

ペアをつくらない子音

無声子音: ɥ c 有声子音: ɥ ɮ ð ю ɮ з ɥ o ṡ

息だけでなく声も一緒にでる子音を有声子音と呼びます。発音しながらのどに触ると、声帯が震えているのがわかります。

⌘ 記号類

ɹ および ' は音声上の区切りを示します。ɹ や ð で述べる規則などによる発音の変化が起こらないように、区切って読むことを明示します。

1 注意が必要な文字

Ɑ と ʄ は手書きされる際には区別されず同じ字で書かれることがあります。
本書では、より普及している書式に従い二つを区別せずともに Ɑ で書くこととします。

- ɱ と ɳ、および ɲ と ɺ は明確に区別されます。ɱ、ɲ が下唇を軽く噛んで発音する(英語の f, v と同じ)のに対し、ɳ と ɺ は唇をかまずに唇の間から息を出すように発音されます。
- ʒ はサ行の音を表します。
- ɖ はザ行の音を表します。後ろに母音がない場合は ʒ と同じ無声音になります。
- ɽ はシャ行の音です。ロシア語の ш のようにそり舌で発音しますが、英語や日本語と同じように発音する場合もあります。ɽ は ɽ の有声音です。
- ɸ は一文字でクッという感じの音を表します。
- ʃ は巻き舌のら行の音を表します。ʒ と区別できるようにしましょう。
- ɸ はツァ行の子音です。
- ɹ はナ行の音ですが、母音字の後に来たときにも [ヌ] と発音します。日本語のように [ン] と読まないようにしましょう。
- Ɑ は ʄ と異なり、単体での音をもたず、直前の母音を長く発音することを示します。
- ɥ はヤ行の子音を表します。

2 二重子音

古典リパライン語時代から引き継がれたり音韻的変遷を経たりして現代に残された、複数の子音で一つの音を表すいくつかの綴りが存在します。

- xɸ は x か ɱ のどちらかから、話者が好きな方を選択することができます。
- ɪɖ, ɖɸ は、それぞれ ɸ, ɽ に対応します。
- ɹɸ は、鼻音化した ɸ を示します。「やかん」の [ン] と同じ音です。
- ʒɸ は、チャ行の音を表します。
- ɪɸ は英語の th と同じく舌を軽くかんで発音する無声音です。有声音が ɹɸ です。
- ɸɸ は、寒くてかじかんだ手を温めるように発音するハ行の音を表します。
- ʃʒ は英語の Ɑ と同じように接近音で発音します。
- Ɑʒ は、直前の子音を長く発音してから ʒ と発音するか、ʃʒ と同じように発音するかを話者が好きな方を選択できます。

3 三重子音

ʃɸɸ は、ドイツ語やフランス語の r のようにのどを震わせるラ行の音です。

T 強弱子音と軟子音

リパライン語の母音は強母音と弱母音の二つに分けられます。強母音は **б, u, э** の3つで、弱子音は **n, ɲ, ɔ** の3つです。また、軟子音というものも存在し、これは **ɱ, ɱ̃, ɗc, ʒc** の4つを指します。

- **n** の後に母音が来るとき、**n** は **ɱ** の音になります。
nɔʒɛ [ユロ] ɱɛɱɱɱɱɱɱ [ヤヴナヴ]
- **ɲ** の後に母音が来た場合、**ɲ** が口をすぼめた **ɱ** の音になることがあります。
uɱɔʒɛɱ [エトゥリユオ] ɱɔɱɱɱɱɱɱ [ユエスレオネ]
- **ɔ** の後に母音が来た場合、**ɔ** が **o** の音になることがあります。
ɱɔʒɱ [トゥアン] ʒɔʒ [ルオ]
- **ɱ** の前後共に母音が来ない場合は、**n** で発音されます。
ɱɱɱɱɱɱɱɱɱɱ [アーテルダーリ] ɱɱɱɱɱɱɱɱ [ツペネーニ]
- 母音の後に **n, ɔ** が来て、(間に **ɱ** が入っても良い) その後に **ɱ** が来ない場合は **ɱ, o** に変わって発音する場合があります。ただし、**ɱɔ, ɱɔ** の **ɔ** は **o** の音にはなりません。
ʒɱɱɱɱɱ [ライネフ] ɱɱɱɱɱɱ [パルタウ]
- 軟子音のあとに **n + 母音字** が来ると **n** が発音されない場合があります。
ɱɱɱɱɱɱ [ドゥシェン] ɱɱɱɱɱɱ [ピュシェン]
- 軟子音または **ɱ** の後ろに来た **ɲ** は **ɔ** で発音されます。
ɱɱɱ [シュー] ɱɱɱ [イユー]

T その他の発音規則

ɱ と **ʒɱ** の綴りが文章の中に見られることは比較的多いため、これらに関する規則は重要といえます。

- **ɱ** が弱母音の後ろにつくときは、その弱母音は半母音化せず分けて発音されます。
ɱɱɱɱɱɱɱɱ [ケートニアー] ~ ɱɱɱɱɱɱɱɱ [ケートニャー]
ɱɱɱɱɱɱɱɱ [フィアンシャ] ~ ɱɱɱɱɱɱɱɱ [ファンシャ]
 - **ɱɱ** の発音には、**ɱɱ** と **ʒɱ** の二種類が認められています。ただし、直後に母音が来ないときは必ず **ɱɱ** の発音となります。
ɱɱɱɱɱɱ [スュエルン / ズュエルン] ʒɱɱɱɱɱ [ルーズィル]
 - **ɱɱ, ɱɱ, ɱɱ, ɱɱɱ, ɱɱɱ** は **ɱ, ɱ, ɱ, ɱɱ, ɱɱ** の促音で読みます。
ɱɱɱɱ [ヨッシェ] ɱɱɱɱɱɱ [アンフェヤッツ]
 - ただし、**ʒɱ** は **ɱ** の促音ではありません。
ɱɱɱɱ [リスシャ] -ɱɱɱ [バスシュ]
-

⑧ アクセント

リパライン語のアクセントは一般には英語と同じ強弱アクセントとされており、

- 単語に音節が一つだけのとき：その母音
- 単語に音節が二つ以上あり長母音がないとき：後ろから二つ目の母音
- 単語に長母音があるとき：最初の長母音

にアクセントが置かれることとなっています。

юно [ニヴ] зиюи [セネ] зиюихбѣнюи [リネパーイネ]

Γ0 イントネーション

特に強調する部分のない平叙文(疑問文や感嘆文でない「普通の」文)は、英語などと同様に平坦に読み、文末がやや下がります。疑問文では、文末が高くなって尻上がりになるように読めます。

Յո ւմ ԹԵՅՈՒԿ.

դճԵՂԻՍ ՅԵՒՅ ԱԾ ԻԱԻՅԵՃ

ΓΓ その他

リパーシェには大文字小文字という概念がなく、文頭や固有名詞の語頭もすべて同じように書かれます(ただしラテン字転写された状態では見やすさのために文頭などが大文字にされることがあります)。

リパライン語は、英語の SVO のような固定した文型がなく、語順の自由度が比較的高いという特徴が見られます。これを可能にしている仕組みは後に述べますが、今は「語順にいろんなパターンがある」ということを頭に入れて慣れることに専念してください。

練習問題

Г) $\partial\text{БЗ}$, БЧ , $\underline{\text{мБЗ}}$, зиф , ХБ , узт , $\underline{\text{туз}}$, зиф

Ү) знүэл, шнхэл, эюул, хбюлб, тбзл, дндюлз

Ֆ) ՅԵՒԻԅ, ԽԱՒՅԱՅ, ՅՈՒՄ, ՄԵՒԻՅՈՒԴԵՒ, ՕՒԷՅՄԱՐԽ, ՅՓՐՄ, ՊԻՓՓ

Г 第1課 -Гии збу^ид^ию^ин^имэ-

Յոս և՛ ԹԵՅՈՎԵ. Յոս և՛ ՅՈՒԵԶԵՆՅՈՒ.

— ДБЗБҫБі

— ДБЗБГЭБ, изигүбдин.

3n uD uziγyob. 3n uD byob.

— тѢЗНЦБДИИ, ЗЭ ИД ДНЮСИՃ

— ҮБ, МБЗУ.

Γ-Γ 人称代名詞

人称の違いを表す代名詞です。一人称は話し手、二人称は聞き手、三人称は会話に参加していない人やものを指します。四人称はリパライン語においては「全て」や「みんな」を表します。物称は直称代名詞とも呼ばれ、直接指さしすることができるものや場所に使います。文脈で使う「それ」や「あれ」は文脈指示を用います。

一人称	ᖅ
二人称	3э, ип
三人称	дп, 3п, юп
四人称	БЗД
物称	тэсБ, туппт
文脈指示	ЗБ зуп, юп ЗБ зуп

- 二人称は、通常は **3я** が用いられます。相手が話を聞いていないと思われる場合や、改めて相手に敬意を表す場合には **ын** を使います。
- 三人称の **дн**, **3н**, **юн** はそれぞれ「彼」「彼女」「(性別を指定しない) その人」に対応します。
- 物称の **мхб**, **мҥнт** はそれぞれ「これ、それ」「あれ」に対応します。距離が近ければ **мхб** を、遠ければ **мҥнт** を使います。
- 文脈指示の **3б 3уҥ** はリパライン語の主要な特徴の一つともいえる代名詞で、話し言葉書き言葉ともに非常によく用いられる表現です。例えば「卵焼き作れる?」「ううん、あれ難しいよね」の「あれ」などは話の中に出てきたものなので **мхб**, **мҥнт** ではなく **3б 3уҥ** で受けます。
- **юн 3б 3уҥ** は指す範囲がそれより前でなく後ろになったもので、たとえば「彼はこういった。進軍せよ」との「こう」などに用いられます。

㊦-1 属格

名詞に **-㊦** をつけることで、「～の」という意味を表すことができます。

ᄁᆞᆫ ᄇᆞᆯᄃ ᄇᆞᆯ ᄇᆞᆯᄃᄃ. 私の名前はフェリーサです。

ᄇᆞᆯᄃ ᄃᆞᆫᄃ ᄇᆞᆯ ᄃᆞᆫᄃ. このパンはおいしい。

数や地名も、そのままつなげるのではなく属格で修飾することで表現します。

ᄃᆞ ᄃᄃᄃ ᄇᄃᄃ ᄃᆞᆫ ᄃᆞᆯᄃᄃ. 彼女は4階にいる。

ᄇᆞᆯᄃ ᆞᄃ ᄃᆞᆯᄃᄃᄃᄃᄃᄃ ᄇᄃᄃᄃᄃ. ユエスレオネ連邦はここにある。

㊦-2 勧誘の助動詞 **ᄃᆞᄃᄃ**

ᄃᆞᄃᄃ を文頭に置くことで「～しよう」と誘う意味を表すことができます。上の例文でエレナが言っているように主語を省くことも可能です。

ᄃᆞᄃᄃ ᄃᆞᆯᄃᄃ ᆞᄃᄃᄃᄃ ᄃᆞᆯᄃᄃᄃ. (私たちは) 昼ごはんを食べよう。

この課の単語

ᄃᄃ 今	ᄃᆞᆯᄃᄃᄃ 部屋
ᄃᆞᆯᄃᄃᄃᄃ たぶん	ᆞᄃᄃᄃᄃᄃᄃᄃ 本
ᆞᄃᄃᄃᄃ ～かしら (女性用の疑問相位詞)	ᄃᆞᆯᄃ 間違える
ᄃᄃ ～かもしれない (相位詞)	ᄃᄃᄃ すべての、あらゆる
ᄃᄃᄃᄃ 人	ᄇᆞᆯᄃᄃᄃᄃᄃ 遊ぶ
ᄃᄃᄃᄃᄃᄃᄃ マニソマ (ラネーメの遊戯)	ᆞᄃᄃᄃᄃ ～とか、など (後置詞)
ᄃᄃᄃᄃᄃ 今日	ᄇᄃᄃᄃᄃᄃ 最初
ᄃᄃᄃᄃᄃ リンゴ	ᄃᄃᄃᄃᄃ マカティ (アイル共和国の首都)
ᆞᄃᄃᄃᄃᄃ 大学	ᆞᄃᄃᄃᄃᄃ 終える、仕上げる
ᄇᆞᆯᄃ ログイン、チェックイン	ᄃᄃᄃᄃᄃ 渡す
ᄃᆞᆯᄃᄃᄃᄃ 食事	ᄃᄃ 男性用の相位詞
ᄇᆞᆯᄃᄃᄃᄃ フェリーサ (人名)	ᄃᆞᆯᄃᄃᄃ パン
ᄃᆞᆯᄃᄃᄃ 階、フロア	ᄃᆞᆯᄃᄃᄃᄃᄃᄃ ユエスレオネ
ᄇᄃᄃᄃᄃᄃ 連邦	ᆞᄃᄃᄃᄃᄃᄃ 食べる、飲む
ᄃᆞᆯᄃᄃᄃᄃ 昼食	

⌘ 練習問題

練習問題 Γ

Γ. リパライン語に訳しましょう。

Γ) 彼は学生だ。：() *ud pudinyuɫb*. ㊦) 私は病気だ。：() *ud ndpɲiɲu*.

㊦. リパライン語に訳しましょう。

Γ) 私は医者だ。：ʒn () *zbyɲɲɪzuɫ*. ㊦) 彼女は教師か？：zn () *pbjɲɲuɫʒ*

⌘. () 内の単語を呼格にしましょう。

Γ) ʒnzn, (*muɪznɪzɔb*)ʒ ㊦) *dbzbɪɪb*, (*dbxxuɫ*). ⌘) *ɕun*, (*zɛ*)i

練習問題 ㊦

Γ. かっこ内の単語を使ってリパライン語に訳しましょう。

Γ) あそこに誰かいます。：(*ʒɛz*, *muɲɪ*, *ɹbɔɪb*, *mbɛ*)

㊦) 彼は今家にいる。：(*nɛ*, *ɰɲɪɲɔ*, *jɛ*, *mbɛ*, *dn*)

⌘) 川の中に石がある。：(*uɲɛɪ*, *ɪɛɪb*, *ʒɛz*, *mbɛ*)

2) 冬にはここは寒くなる。：(*ɹɲɪzu*, *ɲɪzjɔbɪ*, *nd*, *mbɛ*, *ɪɛb*)

㊦. かっこ内の単語を使って(必要な時は活用させて)、リパライン語に訳しましょう。

Γ) 彼女は16歳です。：(*ud*, *Γɔ*, *zn*, *zbɪɹb*)

㊦) 私はパンを二つ持っている。：(*ʒn*, *ɛb*, *zɪɲɲ*, *ɛɲɲɪɲ*)

⌘) 100 レジュ紙幣が三枚ある。：(*zɪɲɲ*, ⌘, *zɪɹ*, *ʒn*, *ɕɪɲuɫɲɪ*, *Γɔɔ*)

⌘. かっこ内の単語を使って(必要な時は活用させて)、リパライン語に訳しましょう。

Γ) ユーゴック語の本を読もう。：(*bɲɪbjɲɪ*, *bɲɪbjɲɪɲɪz*, *ɲɪɕɛɲɪ*, *zɪzɔ*)

㊦) この人を探そう。：(*zbɪɪb*, *ʒɪzɲuɫɲɪ*, *zɪzɔ*, *ɪɛb*)

⌘) 家で寝よう。：(*zɪzɔ*, *ɰɲɪɲɔ*, *ɔzbɛjɔ*, *mbɛ*)